

第6回 銭湯であそぼう！ in 久米川湯

— 振り返り写真集 —

作成：2011.09.15 更新：2011.10.07



昭和の銭湯。

老若男女、地域のたくさんの方々が、一日の疲れを癒しに、
ここへ集っていました。そこはまさに**社交の場**。

そして現代。

地域での**人とのつながり**が希薄となり、
銭湯も地域も なんだか元気がなくなっている……

『今こそ銭湯』

地域のおじいちゃん、おばあちゃん、子育て支援関係の団体、行政職員、
学生たち、地域のみなさん、そして会場となっている**くめがわ湯さん**
の協力を得て実現した、『**銭湯で遊ぼう！**』

今や、多くの人にとって**非日常**となったこの銭湯を舞台に、
そこにあった“**小さな地域**”に触れ、この街の彩りを少しでも伝えたい！

このイベントが、こどもたちやママ・パパの良い思い出のひとつになり、
地域全体が、**子育てを応援**しているんだということを
イベントで表現できたらと思っています。

銭湯で**楽しい**ひとときを過ごせることを、スタッフ一同願っています！

NPOソーシャライズ
代表理事 片山啓吾 & 銭湯スタッフ一同

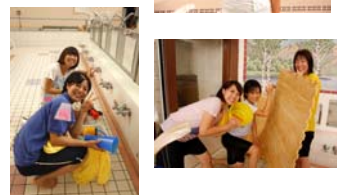


図で解説 “第6回 銭湯で遊ぼう！” とは

主催：NPO法人ソーシャライズ
(主催)



協力：白梅学園の学生たち&地元の仲間たち
(企画運営協力・各遊び&安全担当・出演・カフェ)



協力：ころころの森
(物品貸し出し協力)



協力：くめがわ湯
(会場提供)



協力：
越國屋豆腐店

協賛：
みんなでごはん官兵衛
相羽建設株式会社

出店・協力：
ローラルベーカリー
(揚げミミ販売)
ダイヤ寿司
(お寿司販売)



後援：
東村山市
東村山市教育委員会
東村山市社会福祉協議会



出演：地域にお住まいの皆さん

スマイリングオカリナの皆さん、リトルオキナワさん、
腹話術と折り紙の宮崎さん夫妻



参加：地域の子どもたちと親御さん



- ★親子の新しい体験の場
- ★地域コミュニティ活性化と認知の推進
- ★地域の異世代の交流
- ★地域子育て支援や
地域活動パーソンの表情を伝える
- ★“地域の中の銭湯”の活性化

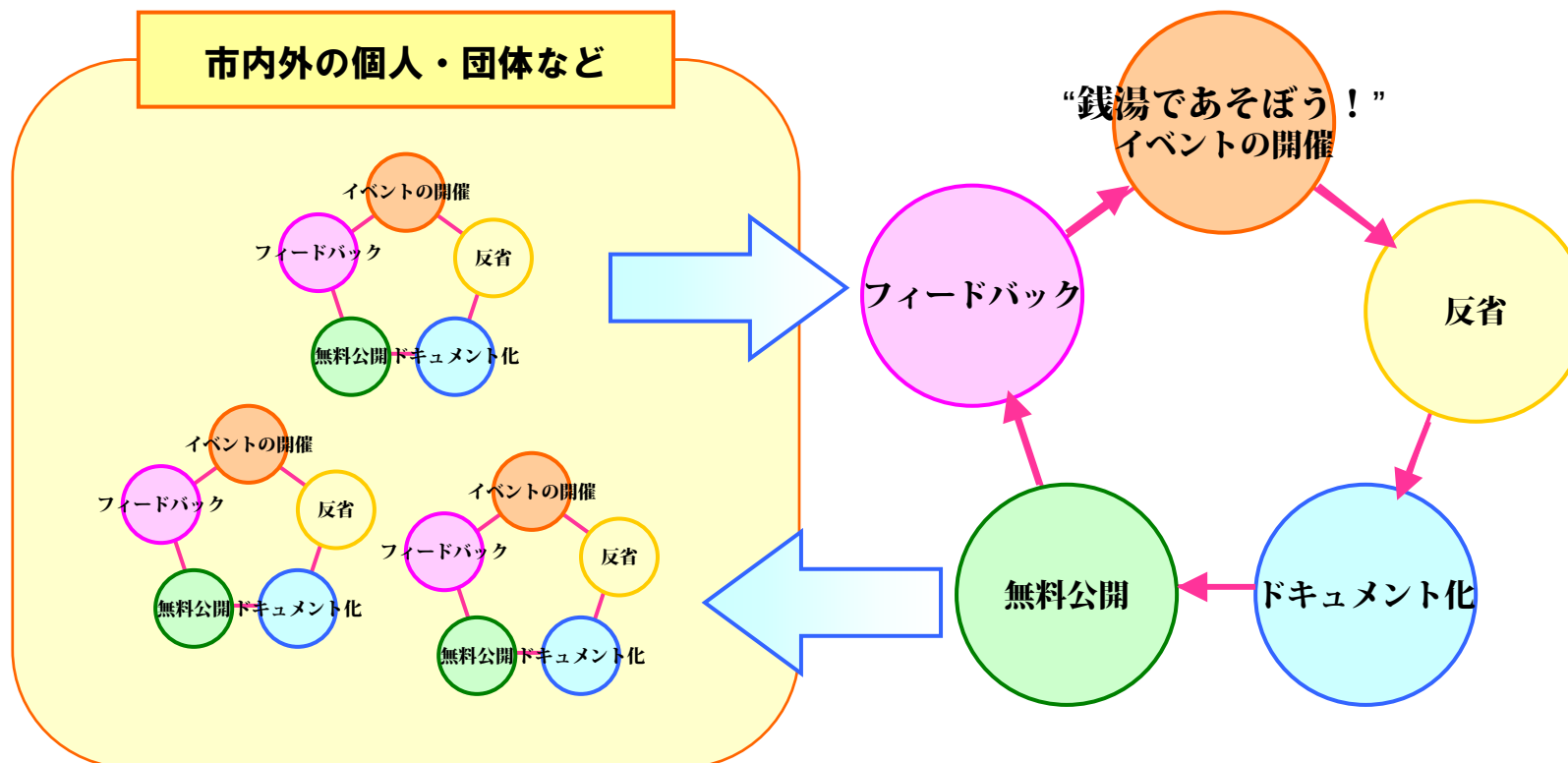
東村山発の新たな取り組みを発信したい！
地域に新しい彩りを加えたい！

イベントの開催は、一定のノウハウが必要で、未経験の人にとっては垣根がないとはいえません。本イベントでは、これで培ったノウハウなどをドキュメント化し、無償で市内外の個人・団体などへ向けて公開します。

少ないノウハウかもしれませんが、このドキュメントが微力なれど“新たな行動を起こす人”の力になればと考えられています。

ドキュメント公開の狙い

- ・この取り組みを、東村山の新しい息吹を、市内外の人たちに知ってもらいたい。
- ・市内外で、同様の取り組みを検討している人がいれば、この経験を活用して欲しい。
- ・活用してくれた他団体からのフィードバックをもらえれば、お互い経験を活かすことができる。



写真で振り返る

事前準備① 試作（NHK取材日）・前日準備



今回で第6回、3年目を迎える『銭湯で遊ぼう!』。
その取り組みがNHKに取材されることとなった。
最初のイベント時には片手ほどだった学生の数が、現在は
約5倍に増え、今回は初参加のメンバーも多く加わった。

前日は各グループに分かれて当日必要なものを準備する。
新しい試みとして、福笑いやパズル、スケジュール付の紙皿
ウチワなども手作りで用意した。また、前回(第5回)の手作り
顔出し看板が好評だったため、今回も制作。
スタッフの人数も多く、協力しながら段取り良く終えられた。

事前準備 ② 当日の会場設営



第6回目を迎える今回は、リーダーと副リーダーを中心に、学生＆地域の若者たち主導で企画、運営が行われた。
当日は朝早くから集合。それぞれが持ち場に分かれ、銭湯内のカーテンやドアの整備、装飾物の準備や掲示物などの配置をする。
今回もスタッフによるカフェをオープン。野外でかき氷やポップコーンを販売する予定だったが、蜂の出現で、急きょ銭湯内ですることとなった。

開場～開演（スタッフ紹介）



今回は夏休み最後の日、8月31日に開催。いつもより告知の範囲を広げたためか、開場の時間からどんどんと親子が来場。あっという間に男湯・女湯、どちらのフロアもいっぱい。
なかにはすでに水着を着て来ている子や、パパといっしょに来た子も。

代表・リーダー・副リーダー、そして保健士さんの紹介をし、開演！

午前：銭湯紙芝居～オカリナ～腹話術



前回(第5回に)作った手作り銭湯紙芝居から午前の部がスタート。
今回初参加の学生が司会進行を務める。明るく元気な声からか、子供たちもすぐにこの場に馴染んだよう。彼女が出てくたびに名前を呼ぶ子も。

紙芝居のあとは、毎度おなじみのオカリナ演奏と腹話術が始まる。夏を意識して選曲したという『夏の思い出』がしっとりと銭湯内に響き渡る。腹話術では、しっかりと見つめる子供の目と親の笑顔が見えた。



社会人の保育士による手遊び。1年前までは白梅大学の学生だったスタッフだ。元気な手遊びがあつという間に親子を巻き込む。

フロアでは顔出し看板が人気に。おばあちゃんといっしょに来てくれた母子もいた。
宮崎さん夫婦による折り紙作りを習うママや、学生の手作りパズルで遊ぶ子も。ステージでもそれ以外でも思い思いに過ごしている様子がかがえた。



お昼タイム／カフェ・展示ブースなどの様子



女湯・男湯フロアと女湯内でお昼ご飯を食べるママと子どもたち。
フロアでは学生による“ほっこり”カフェもオープン。
近所のパン屋さんのあげみみ、ダイヤ寿司さんのお寿司セット、かき氷、ポップコーンを販売。冷たい麦茶はサービスで。
銭湯内では、過去の銭湯イベント写真も展示した。



お昼ごはんタイム中、お風呂遊びに向けて、相談しながら男湯で準備を進める。

女湯では学生による新聞紙遊びから午後の部がスタートした。一枚の新聞紙を使ってネズミが旅する話をする。帽子になったり船になったり...最後にはチョッキ、地図へと変化していく。その様子にママたちもビックリ！子供も夢中になって見ていた。

毎度人気の琉球三味線は今回も大きな盛り上がりを見せる。最後の曲では大人は手踊り、子供はぴょんぴょん飛び跳ね楽しんだ。

午後：泡あわ遊び（左：男湯 右：女湯）



これまでは、男湯または女湯...と、どちらかの場所で行っていたお風呂遊びを、乳児・幼児に分けて、どちらの場所も使う、という試みを初めて行った。

男湯では幼児、女湯では乳児。兄弟と来ている場合には親の判断に任せる。

今回のお風呂遊びは、石鹼でぶくぶくの泡を作って、その泡に色をつけて遊ぶ...というもの。色づけは肌にやさしいマッチカラー、石鹼は無添加のものを使う。ここで使う石鹼の全ては、しゃぼん玉石鹼さんが提供してくださった。

幼児は子供が積極的に、乳児は親が色つき泡をつくり、それぞれの遊び方で楽しんでいた。



午後：お風呂であそぼう（左：男湯 右：女湯）



前々から「やってみたい！」という声のあった
“トイレットペーパー怪人”。
今回、ついに実行することとなった。

...が、体に巻きすぎたのか、仮面が怖かったのか、泣いてしまう子も...。
腰が引けてしまっている子、キョトンとしている子、
笑って立ち向かう子、と様々！
親は楽しんでくれたよう。

男湯に怪人が出たとは知らずに、女湯では穏やかでゆっくりとした時間が流れる。

なかには桶を使ってスタッフとお湯をかけあってはしゃぐ子も。
参加人数も多く、入れ替わり立ち替わり、という様子だった。



受付では鍵の返却の代わりに、しゃぼん玉石鹸さんからの石鹸をプレゼント。とても喜ばれていた。今回は閉演時間を過ぎてても銭湯内でゆっくりしている親子も多かった。スタッフはテントや装飾物などを外し、お風呂を綺麗にして、反省会。去年を超える大人数での運営。一致団結で、今回も事故なく楽しくイベントを終えられた。



ご協力、ありがとうございました！

■協賛

- ・ダイヤ寿司 様
- ・みんなでごはん炭火網焼 官兵衛 様
- ・ネイルデザインC/S 様
- ・相羽建設株式会社 様

■物品提供・告知協力

- ・東村山市 子育て総合支援センター “ころころの森”（物品貸し出し・イベント告知協力）
- ・シャボン玉石けん株式会社（石けん）
- ・東村山市 & 東村山市教育委員会
- ・東村山市社会福祉協議会
- ・東村山市商工会青年部（かき氷機械貸し出し）
- ・ローラルペーカリー様（あげみみサービス）
- ・越國屋豆腐店様（お豆腐）

■出演協力

- ・スマイリング・オカリーナのみなさん（オカリナ演奏出演）
- ・リトルオキナワさん（沖縄三味線出演）
- ・宮崎こ夫妻（腹話術&折り紙出演）

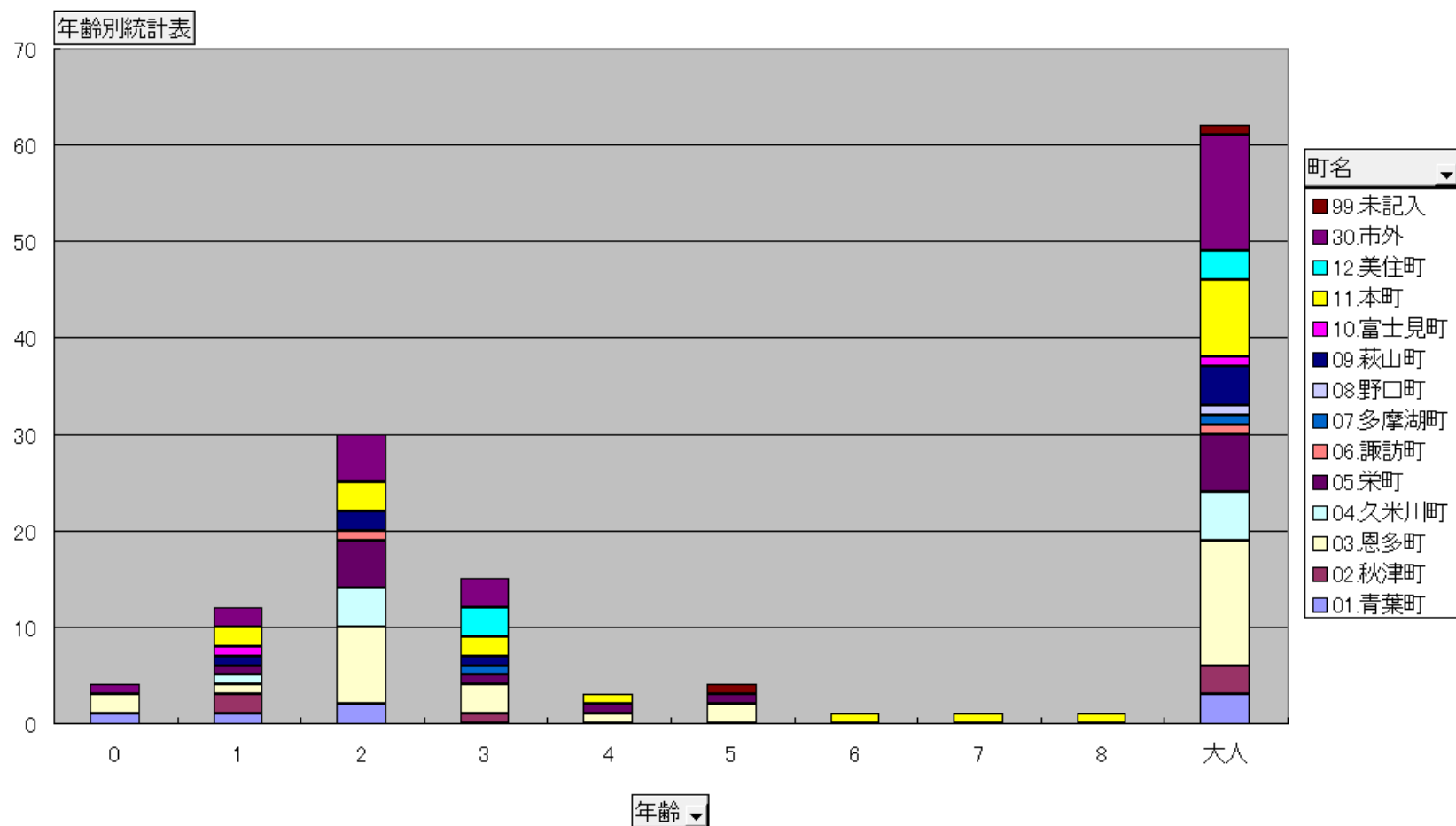
■運営・企画協力（出演含む：氏名は あいうえお順）

- ・くめがわ湯（運営協力・会場提供）
- ・白梅学園大学の学生たち&地元の仲間たち（企画&運営協力／水遊び／そのほか）
磯部愛実さん、井出麻生さん、伊藤あやめさん、井上雄太さん、大久保美早さん、大森美歩さん、岡崎浩幸さん、
梶川ともよさん、小田嶋美幸さん、加藤千春さん、木谷春香さん、窪島芽久美さん、児玉菜々子さん、
菅原裕貴さん、島田将平さん、高本希さん、辻本奈津子さん、利光夢子さん、林由理さん、藤田拓也さん、
古内信伍さん、松浦菜さん、森本和真さん、吉田夏希さん（あいうえお順）
- ・NPOソーシャライズの仲間たち（主催・運営・記録）

イベント当日の来場者数

第6回銭湯で遊ぼう来場者数

大人 62 名
 子ども 71 名
 合計 133 名



遊びに来てくれたママ・パパたちからのコメント

とっても楽しかったです♪子どもはニコニコで楽しかった～と。スタッフのみなさまもよく声をかけてもらえ、安心して参加することができました。うちの裏にもタイムテーブルがあったのは良かったです。飲食できるのも良かったです。

前回もそうだったけど、水で遊ぶときのカラーの容器などがもっともっとたくさんあるといいかな、と思いました。

子どもがだんだん大きくなってきていつまで参加できるのかな・・・？と思うと、成長が楽しみなようなさみしいような複雑な気持ちです。次回は3月でしょうか？春休み中だったら参加できるのですが。来年の夏はぜひ来たいです。

子どもも大人も一緒に楽しめて、とても良かったです。また是非来たいです。集合写真とりましたか？前回、集合写真以外で写っている写真が1枚もなくて残念でした。

銭湯はじめて☆とっても楽しかったです！

大きいお風呂に入れて、思いがけず子どもも喜んでました。こういった企画、よいと思います。銭湯、楽しかったです。個人的にまたきたいと思います。

今まで来た中で一番楽しかったです。

とても楽しかったです。お風呂でお兄さんに抱っこをしてもらっている姿にびっくりです。両親以外に抱かれると泣き出すので。今日は本当に楽しんでくれました。ありがとうございます。

とても楽しかったです。来年は上のクラスで大暴れさせたいです。

集合写真を今回も撮りたかった。写真の掲載の期限を表示しておいていただけると嬉しいです。

いつも楽しいイベントをありがとうございます！今回はお茶のサービスがありがたかったです。持参の水筒も空になるくらいはしゃいでいたので・・・。お風呂に入る前に悪者が出てきたのは楽しかったです！妹は泣いていましたが、お兄ちゃんは喜んでました。

子ども達が主と思いますが、イベントスタッフさんも良い経験ができていると感じました。

前回より人が多かったですね。

親も泡遊びの時に洋服が濡れたり、汚れたりすることを事前に言っておいた方がよい。

とても楽しかったです。歌や演奏がもっと沢山だと嬉しい。またやってください。食べ物がもっと種類あると嬉しい。でも、安くてよい。

そのほか、沢山の改善点や活用点についてのご意見もいただきました。
ありがとうございます！

[illegible]

収入の部		協賛費	協賛費	相羽建設、官兵衛、ダイヤ寿司	30000
		寄付	寄付	くめがわ湯	10000
					40000

19309



特定非営利活動法人ソーシャライズ 法人概要

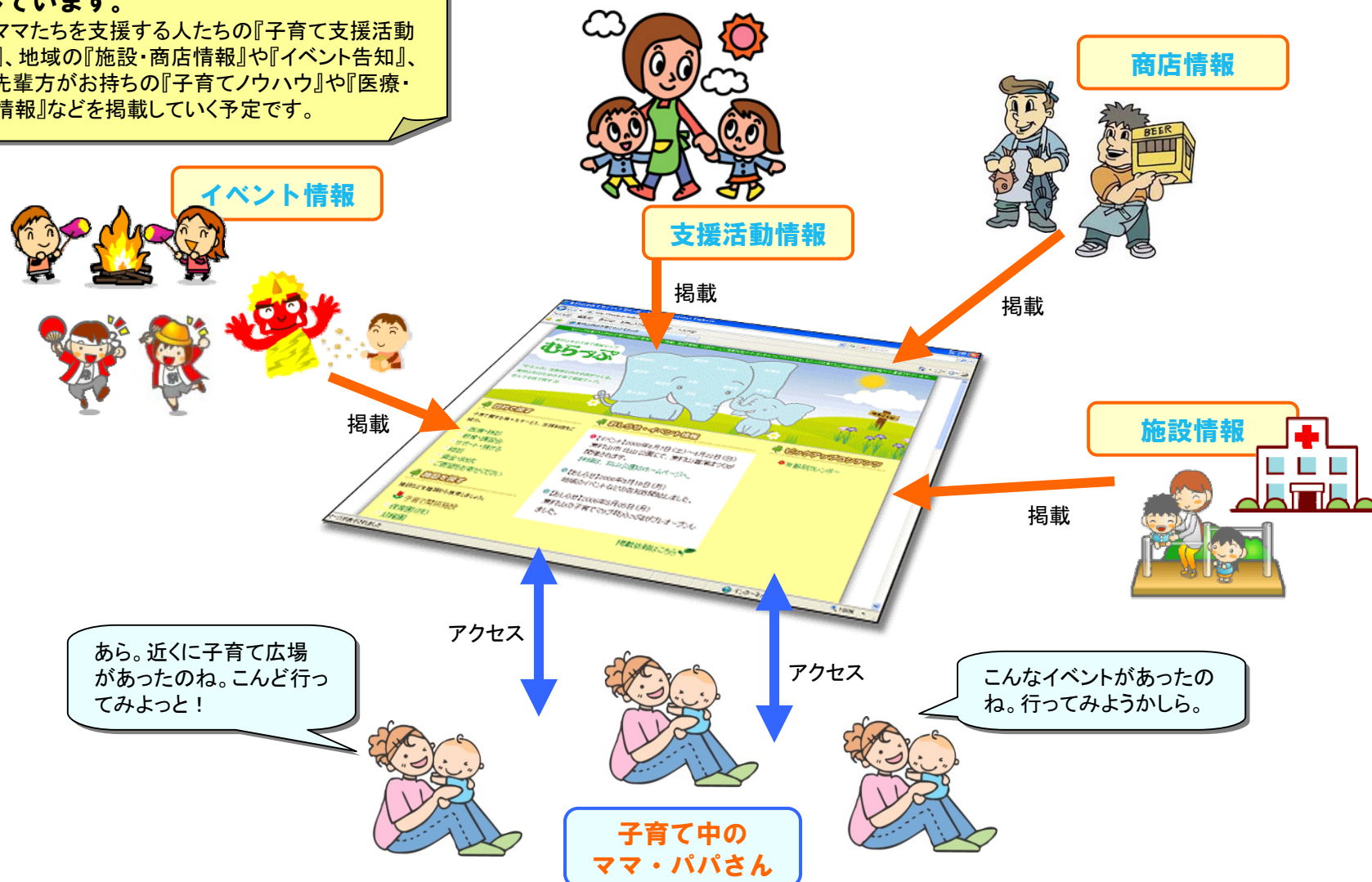


「こんなのがあればいいのに」「こうだったらいいのに」
 誰もが口にするこの言葉。
 だけど、何もしなければ何も変わらない。それはみんながわかっていること。
 ならば、今ここで改めてスタートしていこう。
 必要なものが今そこにはないならば、必要とする自分たちが創っていこう。
 何かが変わり、うまれるのを待つのではなく、自分たちが変え、うみ出していこう。
 そんな思いで創ったNPO法人です。
 私たちソーシャライズは、
 私たちの“まち”をより住みよい“まち”にするための第一歩として、
 『子育て支援情報の提供』に取り組んでいます。

法人名	特定非営利活動法人ソーシャライズ
代表者	かたやま けいご
メンバー	理事 秋葉 秀央(NPO法人TINA 代表) 原 直之 監査 土田 慎太郎(法律事務所あすか 弁護士) 社員 8名
事務所	東京都東村山市久米川町3-21-1-206
連絡先	Keigo@sociarise.or.jp 090-4841-7423(片山携帯) 042-306-0606(TEL) 042-306-0607(FAX)
設立日	2008年12月24日(2008年4月活動開始)
主な活動内容	東村山市の子育て支援情報サイトむらっぶの運営・管理

むらっぶは、
地域の子育て支援情報プラットフォームを
目指しています。

子育てママたちを支援する人たちの『子育て支援活動
の告知』、地域の『施設・商店情報』や『イベント告知』、
子育て先輩方がお持ちの『子育てノウハウ』や『医療・
健康の情報』などを掲載していく予定です。



これまで、むらっぴで取材した団体・NPO

★コミュニティ運営

【花さき保育園】

地域とのコラボレーションで実現。園が運営する青葉町の3つの子育てひろば

【HUGこどもパートナーズ】

暖かい雰囲気 のぐちちょう子育てひろば

【コミュニティスペースよるべ】

久米川辻そばの一軒家は親子が集まるほのぼのコミュニティ

【ころころの森】

旧保健所にできた、子どもとママ&パパの楽園！

★保育所・幼稚園運営

【東村山 5名の保育ママ】

家庭の雰囲気そのままに。子どもとのこの距離感が保育ママ♪

【NPO法人東村山子育て支援ネットワークすずめ】

木の香りがするおしゃれな保育園も 現役ママたちの活動からはじまった

★ミニコミ誌発行

【トコトコ・ワールド】

きっと手に取った方も多いはず。情報ぎっしり"トコトコ通信"

★図書館

【くめがわ電車図書館】

地域のママ&パパがつくった、東村山で最も歴史ある、ちょっと変わった図書館？



2009年～2011年の春（3月）・夏（8月）に開催しました

昭和の銭湯。

その空間は、地域の人たちが顔を合わせ、声を交わし、老若男女が集う地域コミュニティの主役的存在。まさに小さな「地域」がそこにはあったのです。

そして今。

地域コミュニティの主役だった銭湯は、自宅風呂の普及と共に利用者減少し、当時の元気だった面影が薄れてきてます。

『今こそ銭湯』

銭湯は、天井が高く、お湯の音がこだまする非日常の空間。

銭湯を知らないなんてもったいない！

あなたも、ぜひ、このイベントに足を運んで、銭湯を体験してみませんか！※写真は第1回目の様子



現在の活動内容② ～ まちの銭湯で子育てイベント（下記は第3回目、夏開催での様子） ～

主催：NPO法人ソーシャライズ
（運営・屋台出店）



協力：NPOここと
（運営協力・カフェ・出演）



協力：チーム白梅学園
（運営協力・水遊び担当・出演）



協力：富士見町の前田さん
（運営協力・出演）



協力：ころころの森
（物品貸し出し協力）



協力：くめがわ湯
（会場提供）



出店・協賛：
ポールスタア株式会社
（東村山名物 黒焼きそば）



提供・協賛：
豊島屋酒造株式会社
（水・酒樽）



出店・協賛：
相羽建設株式会社
（天然素材 木工教室）



出店・協賛：
多摩きた生活クラブ生協
まち・東村山
（石けん教室）



出店・協力：
ご近所の越屋豆腐店さん
（冷や奴）



出演：地域にお住まいの皆さん



後援：
東村山市（子ども家庭部子育てエリア担当）
東村山市教育委員会
東村山市社会福祉協議会
（物品貸し出し協力）



参加：地域の子どもたち、ママたち



- ★親子の新しい体験の場
- ★地域コミュニティ活性化と認知の推進
- ★地域の異世代の交流
- ★地域子育て支援や地域活動パーソンの表情を伝える
- ★“地域の中の銭湯”の活性化

東村山発の新たな取り組みを発信したい！
地域に新しい彩りを加えたい！



片山啓吾
1977年12月生まれ
東京都東村山市 出身。

1998年 東京工科専門学校 情報処理科卒
トランスコスモス株式会社 入社
UNIXに関するシステム・ネットワーク設計に携わる。

2000年 個人事業デジタル・アドバイザー 設立
同社代表に就任。
ウェブサイト制作受託業務を開始するも2ヶ月で解散。

2001年 有限会社デジタル・アドバイザー 設立
同社 代表取締役就任。
ウェブサイト制作の制作業務を開始。
自社サービス、メール配信システムを販売開始。
国内初のインターネットを活用した計画外流通米の
流通事業をNPOとして立ち上げる。

2003年 株式会社シリウステクノロジーズ 設立
同社 取締役ビジネスクリエイターに就任。
事業戦略、アライアンス戦略、システム設計等を担当。
主に、
・国内初のSNSサービスの立ち上げに参画
・世界初のモバイルGPS連動型SNSの立ち上げ
・世界初のGPSを活用した広告配信サービスの立ち上げ
などに携わる。
現在もGPSを活用した広告配信サービスでは
モバイルサイト大手のモバゲータウンなどで採用されている。

2008年 NPO法人ソーシャライズ、株式会社ユナイテッドリンクスを設立。
まちの発展につながるウェブコンサルティング事業、
人に喜ばれるソリューション開発を行う。
他、NPO TINA理事、株式会社アトランティス顧問を兼任。



←東村山の子育て情報マップ むらっぶ
地図やカテゴリから地域情報を検索できる。

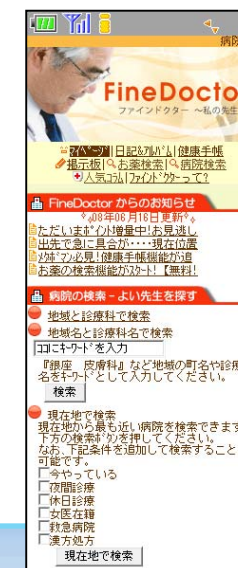
↓九十九里スーベニアネット
経済産業省認定の助成事業。
九十九里浜の観光情報やお土産情報を掲載。
九十九里の魅力を市内外に発信。



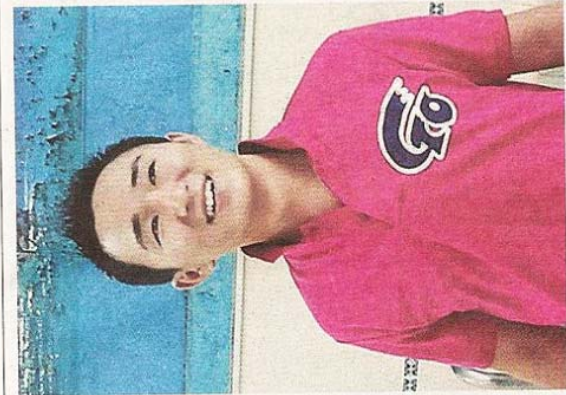
↓おこめナビ
全国440の稲作農家をネットワーク。
生産者の顔と思いが伝わるお米販売。
同社NPOでは稲作農家への就農支援
なども行う。
ちなみに、片山は同NPOの理事。



↓ファインドクター
診療科や症状、GPSなどで病院を検索。
掲示板やポイントシステムなど。



(第3種郵便物認可)



メモ 東村山市野口町出身で、同市久米川町在住。専門学校で情報処理を学び、IT (情報技術) 関係の会社勤めを経て、現在は自宅でホームページの製作などを請け負っている。「むらっぶ」のアドレスは、<http://murap.jp/>

「折り紙で、こんなごまく花の形が作れるんですね。お年寄りが幼児に折り方を教えているのを見て、近くにいた母親が感心していた。腹話術の人形劇では会場内に笑い声が響き、沖縄三味線の演奏が始まると大人も幼児も一緒に踊り出す。

普段からよく通っている東村山市本町の「くめがわ湯」で今年3月に開いた「銭湯で遊ぼう!」のひとつだ。市内の0〜3歳児と保護者が約

イベントを主催する
片山 啓吾さん 31

銭湯で地域交流

70人が参加し、運営には地域住民らが携わった。

主催したのは、自身が昨年12月に設立したNPO法人「ソーシャルイズ」。初めてのイベント開催だったが、「みんなが銭湯という場を共有し、つながりを深められた」と手応えをつかんだ。

銭湯をイベントの舞台に選

んだのは、利用客の減少に苦しむ地域コミュニティを守りたいという思いがあるからだ。幼い頃に通った市内の銭湯では、見知らぬ大人がよく声を掛けてくれた。「何歳だ」「水を入れすぎると、ほかの人が入る時にぬるくなるよ」。人と触れ合うなかで社会のルールを学ぶ場所でもあった。

昨年10月、妻の綾乃さん(32)と、埼玉県所沢市から東村山市内に戻ってきた。「自然豊かな東村山で子育てがしたい」というのがその理由。ちょうどその頃、市内の子育て支援団体などを紹介するホームページ「むらっぶ」を開

設した。団体取材した際の写真やコメントを掲載し、どんな人たちが活動しているかを知ってもらうことで、気軽に利用しやすくなる「顔の見える紹介」を心掛けた。

「ないものは、自分たちで作ればいい。座して待つことはない」が信条。子育てへの関心を通じ、街の行政や防犯、

自然環境など、まちづくりへの意識が広がることを願う。

今月26日には、「くめがわ湯」で第2弾のイベント

を計画している。今回は対象年齢を広げ、地元企業の協力も決まった。

今年5月に長男が誕生し、「お子さんは元気ですか」といった地域での同気な一言が心の支えになっている。

(岡本裕輔)





NHK『いと6けん』のなかの“わたしの街のイチオシさん”というコーナーで東村山が特集され、わたしたちのイベント【銭湯で遊ぼう!】が取材されました。(2011. 08.24放送)